

中部経済新聞に掲載されました

しらかばハウジング古民家再生に力

注文住宅・増改築を手掛ける、しらかばハウジング（本社刈谷市半城土西町2の18の13、池田直樹社長、電話0566・21・8171）は、古民家再生に力を入れる。木組みなど伝統的な工法に対応できる専属大工を抱える強みを生かし、今後増加が見込まれる空き家問題にも対応していきたい考えだ。愛知県内で年間5棟の施工を目指す。

同社は1981年創業。従来、一体まで幅広く展開する。従業員数は10人。新築住宅は年間12棟程度を建築し、リフォームは水回り・外壁から家全

体にまで幅広く展開する。これまで古民家再生は、要望に応じて年に1棟程度を手掛けていた。古民家探しから対応し、古い建材の良さを残しつつ、現代の生活スタイルに合わせた間取りに変更したり、耐震性を向上するリフォームを行う。



池田直樹社長

伝統工法で空き家問題解決へ

専属大工がそろっており、柱や梁の導入。最近では、シックリ入れ残していくことも大切。木組みなど技術の継承に「アサインアワード2018」で全国優秀賞を受賞している。古民家の再生でも、断熱材をしっかりと施工している。古民家の再生でも、



①太い柱や梁を生かした古民家再生例
②しらかばハウジングの本社外観

こうした新しい技術を活用していく。

るため、ドイツから吹き込

ツから吹き込む力が強い機

池田社長は「古いから壊すのではなく、新しい技術を取り入れ残していくことも大切。木組みなど技術の継承に」と意欲をみせている。

明日を拓く経営

東海で頑張る中小企業



2019年(令和元年)
6月25日
火曜日

発行所
中部経済新聞社
〒450-8561
名古屋市中村区
名駅4-4-10

編集局 052(561)5212
読者開拓局 052(561)5216
広告部 052(561)5213
事業部 052(561)5675
総務部 052(561)5215
東京支社 03(3572)3601